

生命科学研究領域

平成20年度修了	ラット海馬エストロジオール合成調節の分子機構
平成23年度修了	ペプチド作動性Na ⁺ チャネルの活性化とイオン透過性を制御する機能部位
平成26年度修了	摂食関連受容体MCHR1の細胞内分子メカニズム解明
平成27年度修了	新規視床下部分泌性小タンパク質の合成法の確立
平成28年度修了	海馬歯状回顆粒細胞における興奮性シナプス伝達のセロトニン性調節
平成29年度修了	Studies on Biological Action of Novel Neurosecretory Proteins in Chickens and Rats

人間行動研究領域

平成21年度修了	事象関連電位を用いた虚偽検出検査における反応規定因 自己覚醒が夜間睡眠と起床後の覚醒度に及ぼす影響 自己覚醒の習慣が睡眠と日中覚醒に及ぼす影響に関する研究 個あるいは地域の支援の仕組みづくりにおける専門職支援のあり方に関する研究－ 行政職である保健師の視座から－ 行為における予期と結果との認知的ミスマッチに関する研究 内集団アイデンティティの重層的な変動メカニズムについての検討－社会的カテゴリーの相対的有意義性モデルの観点から－ 外国語教育における中国語単数数量詞研究 社会不安障害の記憶構造に関する検討 ラット事象関連電位P3-like成分の神経生理学的基盤の検討
平成22年度修了	高齢者の転倒と個人特性の関連の検討 病院組織における看護職の集団構造および集団生産性に関する検討 不安状況下における吃音者の発話状態の変化－聴衆者の存在による効果の検討 社会的排斥経験後の適応過程における心理社会的資源の機能の検討 大学生の希望の規定因に関する検討－中国の大学生のキャリア意識と出世意欲の 視点から－
平成23年度修了	刺激弁別課題におけるラット海馬の電気生理学的検討
平成24年度修了	気分が空間的注意の範囲に及ぼす効果 サイコパシー傾向が公正性をめぐる行動に及ぼす影響 音楽聴取によって生じる鳥肌感と涙感についての研究
平成25年度修了	断酒しているアルコール依存症者に対する一般住民の態度改善に関する研究 地位格差のある集団間状況における外集団卑下の生起過程に関する検討 スヌーズレンが重症心身障害児・者の自律神経機能と自発的行動に及ぼす影響 過剰な心配に対するマインドフルネス・トレーニングの作用機序 心理的ウェルビーイングの向上が全般性不安症状に影響を与えるプロセスの検討 社会的排斥が個人の認知・感情・行動に及ぼす影響－個人内・個人間過程に着目した 検討－ 学習場面における自己調整メカニズムについての検討
平成26年度修了	バーンアウト概念の再検討－仕事への情熱の観点から－
平成27年度修了	新人看護師のリアリティショックに関する研究 背景音が行動に与える効果に関する心理生理学的検討
平成28年度修了	不健全完全主義の瑣末な努力のメカニズムと適応性に関する検討 定時制高校生の英語における数字と語と文の直後筆記再生の分析と教育的示唆 サイコパシーの社会的行動のメカニズム－認知機能に着目した検討－
平成29年度修了	考え続ける義務感と反復思考の役割に着目した診断横断的なメタ認知モデルの構築

身体運動科学研究領域

平成20年度修了	発達障害児と健常児の障害物回避能力に関する研究
平成21年度修了	身体障害者の生活の質(Quality of Life)に及ぼす身体活動の影響—特にスポーツ活動に着目して—
平成22年度修了	日本人脊髄損傷者及び下肢切断者に対する体力・運動能力測定の標準化に関する研究 日本YMCAにおけるスポーツの普及と展開に関する研究 運動時の温熱性疲労における脳内セロトニンの関与 Characteristics of metabolic responses during prolonged arm cranking exercise in persons with spinal cord injuries.
平成23年度修了	「東京ゴルフ倶楽部」の設立と展開に関する研究 介護保険サービスを利用している高齢者のQuality of Life および Activity of Daily Living に及ぼす運動介入の影響
平成24年度修了	伸張性収縮による骨格筋の機能低下の要因 糖尿病が心筋筋小胞体Ca ²⁺ -ATPaseと筋原線維タンパク質の機能および酸化的修飾に及ぼす影響 脊髄損傷者の健康関連Quality of Lifeの向上に関する研究 EXCITABILITY CHANGE IN THE IPSILATERAL PRIMARY MOTOR CORTEX DURING A UNILATERAL RHYTHMIC CONTRACTION OF FINGER MUSCLES 日本におけるアダプテッド・スポーツの現状と課題:インクルージョンの普及に伴う学校体育と地域スポーツ
平成25年度修了	小学校高学年児童の身体活動が自己効力感及び体力向上に及ぼす影響 EXCITABILITY CHANGE IN IPSILATERAL PRIMARY MOTOR CORTEX DURING A FINE-MOTOR MANIPULATION TASK
平成26年度修了	棒高跳における助走の実践的評価法に関する研究
平成27年度修了	脳性麻痺者の関節可動域が体力・運動能力に及ぼす影響 「阿波おどり」を活かした妊婦運動の効果 心理的プレッシャーが踏み出し運動における初期姿勢ならびに予測的姿勢制御に及ぼす影響 The mechanisms of the central nervous system behind the ergogenic and hyperthermic effects of caffeine in the rat
平成28年度修了	バレーボール競技場面の動作分析によるセッターのトス技術に関する運動学的研究 腸脛靭帯炎の発症に関与するランニング中の下肢関節角度と腸脛靭帯の緊張 国際試合におけるバレーボール一流男子選手の守備に関する運動学的研究 速筋における低頻度疲労の発生メカニズム-筋原線維のCa ²⁺ 感受性と筋小胞体のCa ²⁺ 放出機能に着目して-
平成29年度修了	Modulation of Spinal Neural Circuits Induced by Corticospinal Descending and Peripheral Afferent Inputs 習得及び心理的プレッシャーが協力する2者間の躊躇と衝突に及ぼす影響 女性高齢者における関節可動域、筋力、運動能力および転倒との関係 身体冷却による運動能力向上に関わる中枢性機序 Acquisition of coordinated finger movements through motor skill learning

言語研究領域

平成23年度修了	An Analysis of Brand Name Nouns in Contemporary American English : Their "Genericization" Processes and Sociocultural Factors
平成24年度修了	二人の「若者」はどこに消えたのか—共観福音書のテキスト依存関係に関する研究 Die Partizip II-Adjektivkomposita im Deutschen -Syntaktische und semantische Beschränkungen des Wortbildungsprozesses-
平成25年度修了	モールスコードの言語学的研究:符号化の解明 台湾における日系外来語について Phonetic and Phonological Changes in Obsolescing Languages: A Case Study of the Khorasani Variety of Kurmanji Language
平成27年度修了	Visual Language Retention
平成29年度修了	コーパスを用いた英語の応答表現の研究-類義語を持つ語彙的表現の語法分析-

人間存在研究領域

平成24年度修了	The Cultural Hegemony of Bollywood in South Asia :The Challenges of Bangladeshi Cinema(南アジアに於けるボリウッドの文化覇権について—バングラデシュ映画の挑
----------	---